

第2回 王寺町タウンミーティング

日時：平成26年8月3日（日）

午後2時～3時30分

場所：文化福祉センター 2階 会議室

次 第

1. 平井町長

「王寺町の財政状況」「子ども・子育て」「高齢者福祉」について

2. 事前に応募された方からの質問

- ・ 少子化時代に必要な社会性豊かな育児指導法
- ・ イコカカードの継続について
- ・ あそびの城と屋根付きの遊び場
- ・ 高齢で歩けない方の避難について

3. 予定終了時間の範囲で、上記以外の方からの質問

配布資料一覧

資料1 王寺町の財政状況

資料2 王寺町の人口動態から見た福祉施策の方向性

資料3 王寺町の「子ども・子育て」「高齢者福祉」施策

アンケート（ご協力をお願いします）

王寺町の財政状況

1. 王寺町の平成24年度決算の状況

王寺町の財政と家計では、金額や使い道に大きな違いがあるため単純には比較できませんが、平成24年度決算の状況を、「月収30万円の家計」に例えてみました。

王寺町の平成24年度決算（普通会計）

1ヶ月の家計簿に例えると・・・

■歳入

町税は、歳入全体の約41%

町税	2,938 百万円
地方交付税、国・県支出金など	3,025 百万円
負担金、使用料、手数料など	565 百万円
繰入金	301 百万円
町債	328 百万円
歳入合計	7,157 百万円

■収入

給料 (計 25万円)	基本給	123,000 円
	諸手当	127,000 円
パート収入等		24,000 円
貯金の取り崩し		12,000 円
借金		14,000 円
収入合計		300,000 円

■歳出

経常的に必要となる経費は、約68億円
(歳出全体の約96%)

人件費	1,109 百万円
扶助費 (医療費助成、障害者への給付など)	1,012 百万円
公債費	1,577 百万円
物件費	910 百万円
繰出金、補助費等	2,177 百万円
普通建設事業費、維持補修費	106 百万円
積立金	163 百万円
歳出合計	7,054 百万円

■支出

食費	47,000 円
医療費	43,000 円
借金の返済	66,000 円
日用品、光熱水費など	38,000 円
子どもへの仕送り、習い事	91,000 円
家電の買替え、家の修繕	4,000 円
貯金	7,000 円
支出合計	296,000 円

歳入－歳出	103 百万円
-------	---------

収入－支出	4,000 円
-------	---------

(実質収支 103 百万円)

王寺町は、過去から黒字決算を継続しています。しかし、黒字だから安心とは単純には言えません。財政構造の硬直性（弾力性）を表す指標を使って、王寺町の財政状況を見てみましょう。

(主な公共施設の建築年及び築後年数)

学校名	建築年 (一番古い 校舎)	築後年数	施設名	建築年	築後年数
王寺幼稚園	S45	44年	中央公民館	S49	40年
王寺南幼稚園	S62	27年	文化福祉センター	S57	32年
王寺小学校	S34	55年	泉の広場公民館	S54	35年
王寺北小学校	S51	38年	// 体育館		
王寺南小学校	H元	25年	// プール	S52	37年
王寺中学校	S39	50年	舟戸プール	S59	30年
王寺南中学校	S58	31年	王寺アリーナ	H2	24年

※ 幼稚園及び学校の耐震化は、既に完了しています。

②生産年齢人口の減少

新聞紙上でも少子高齢化が話題となっていますが、王寺町も例外ではありません。平成26年1月1日人口を基にした王寺町の将来推計人口では、今後20年間で年少人口は△40.2%、生産年齢人口は△22.4%の減少、逆に高齢者人口は+22.2%伸びることが見込まれています。

生産年齢人口が減少すれば、所得により税額が決まる個人住民税の減少につながり、20年後の町税収入は、現在より約1億7,800万円減少することが見込まれます。

また、高齢者人口の伸びにより、後期高齢者医療や介護保険に係る給付への繰出金も増えることが予想されます。

(王寺町の将来推計人口)

年齢区分	平成26年1月1日 (2014年)		平成47年推計人口 (2035年)		差	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
年少人口(0~14歳)	3,016人	13.0%	1,804人	9.0%	△1,212人	△40.2%
生産年齢人口(15歳~64歳)	14,220人	61.5%	11,035人	55.1%	△3,185人	△22.4%
高齢者人口(65歳~)	5,896人	25.5%	7,202人	35.9%	+1,306人	+22.2%
合計	23,132人	100.0%	20,041人	100.0%	△3,091人	△13.4%

6. これからの王寺町の課題

生産年齢人口を維持し、税収を確保していくためには、町内での出産を促す施策とともに、若い世代が王寺町に転入し、定住化していただくことが必要です。そのためには、子ども・子育て支援策を拡充し、子どもが健やかに成長していくうえで必要な教育環境を整備していくことが不可欠です。経常経費の削減と、これら施策と両立していくことが求められています。このため、限られた財源を、どの施策に使っていくのか、緊急性・重要性など優先順位を見極めていくことが必要です。

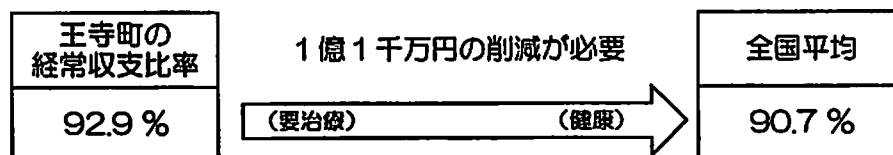
③税収の確保

歳入確保のために、住民の皆様のご理解とご協力のもと、町税の徴収率の向上を図ってまいりました。平成24年度の町税の徴収率は98.5%で、県内トップの徴収率となっています。

年度	町税の徴収率			
	王寺町	県平均	全国平均	県内順位
平成20年度	97.8%	91.3%	93.6%	4位
平成21年度	98.1%	91.3%	93.3%	4位
平成22年度	98.1%	91.5%	93.3%	4位
平成23年度	98.4%	92.1%	93.7%	2位
平成24年度	98.5%	92.8%	94.2%	1位

4. 経常収支比率を「健康」にするためには

王寺町の経常収支比率を「要治療」から、「健康」（全国平均未満）にするには、経常的な歳出を、約1億1千万円削減する必要があります。



5. 今後の財政需要等について

しかしながら、1億1千万円を削減することは、簡単なことではありません。今後、王寺町では、老朽化する公民館などの公共施設の建替え、高齢化に伴う介護に要する経費の増加などとともに、少子高齢化の影響（生産年齢人口の減少）による町税の減収などが見込まれています。

①公共施設の老朽化

王寺町の公共施設は、築後30年経過している施設が多く、今後、耐震性の確保も踏まえ、建替えまたは改修による長寿命化が必要になってきます。

2. 王寺町の経常収支比率

〔経常収支比率とは？〕

自由に使えるお金の割合（財政の弾力性）を示す指標として、「経常収支比率」というものがあります。これは、家計で例えるなら、給料など毎月必ず入ってくるお金のうち、毎月の生活に必要な経費（経常経費）にどの程度使っているかという割合です。

この数値が低いほど、お金の自由度が増し、生活にゆとりがある（財政に弾力性がある）こととなります。また、この数値が高いほど、生活に余裕が無く、家電製品の買い替えや住宅のリフォームなど、臨時的な支出に対応することができません。

王寺町の平成24年度の経常収支比率は92.9%で、全国平均の90.7%を超えており、町の財政状況は、健康状態に例えるなら「要治療」に分類される状況にあります。

経常収支比率	王寺町	奈良県平均	全国平均
	92.9%	93.7%	90.7%

3. これまでの歳出削減の取り組み

①人件費の削減

王寺町では、これまで退職者の補充を抑制し、職員数の削減に取り組んできました。平成24年4月1日現在の職員数は145人と、5年前と比べて48人削減しており、削減率は24.9%と県内トップです。

王寺町の職員数			19年度からの職員数の削減率			類似団体との比較	
24年度	19年度	削減数	王寺町	県平均	全国平均	職員数	比率
145人	193人	△48人	△24.9%	△10.7%	△8.2%	△13人	△10.6%

王寺町の職員給				
24年度	19年度	削減額	削減額を家計（月収30万円）に例えると	削減率
702百万円	971百万円	△269百万円	△11,000円	△27.7%

②公債費の抑制

王寺町では、平成21年度、平成23～25年度にかけて、金融機関からの借入金の繰上償還を実施し、翌年度からの公債費（ローンの償還額）を抑制してきました。

年度	繰上償還額	繰上償還による翌年度の町財政の改善額	
		公債費削減額	削減額を家計（月収30万円）に例えると
平成21年度	411百万円	△170百万円	△7,000円
平成23年度	205百万円	△49百万円	△2,000円
平成24年度	556百万円	△113百万円	△5,000円
平成25年度	162百万円	△32百万円	△1,000円
合計	1,334百万円	△364百万円	△15,000円

王寺町の人口動態から見た福祉施策の方向性

日本創成会議

〔 座長・増田寛也
（元総務大臣） 〕
による人口推計

- ・ 若年女性(20～39歳)の減少から将来推計した2040年(平成52年)の人口減少率
- ・ 50%以上減少する市町村(消滅可能性都市)は、全国で896自治体(全体の49.8%)
- ・ 王寺町…49%

王寺町の 少子化

- ・ 合計特殊出生率^(※2)(平成20年～平成24年の平均)
王寺町…1.26人
奈良県…1.29人 全国…1.38人
人口の維持に必要な出生率…2.07人
(※2)15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
- ・ 中学生以下の増減率^(平成6年→平成25年)
王寺町…△35.1%
奈良県…△27.8% 全国…△23.9%

王寺町の 高齢化

- ・ 65歳以上人口 5,896人^(平成26年1月1日現在)
⇒4人に1人が高齢者
- ・ 75歳以上人口 2,628人^(平成26年1月1日現在)
⇒10人に1人が後期高齢者
- ・ 10年後 65歳以上人口 7,447人
⇒3人に1人が高齢者
- ・ 10年後 75歳以上人口 4,372人
⇒5人に1人が後期高齢者

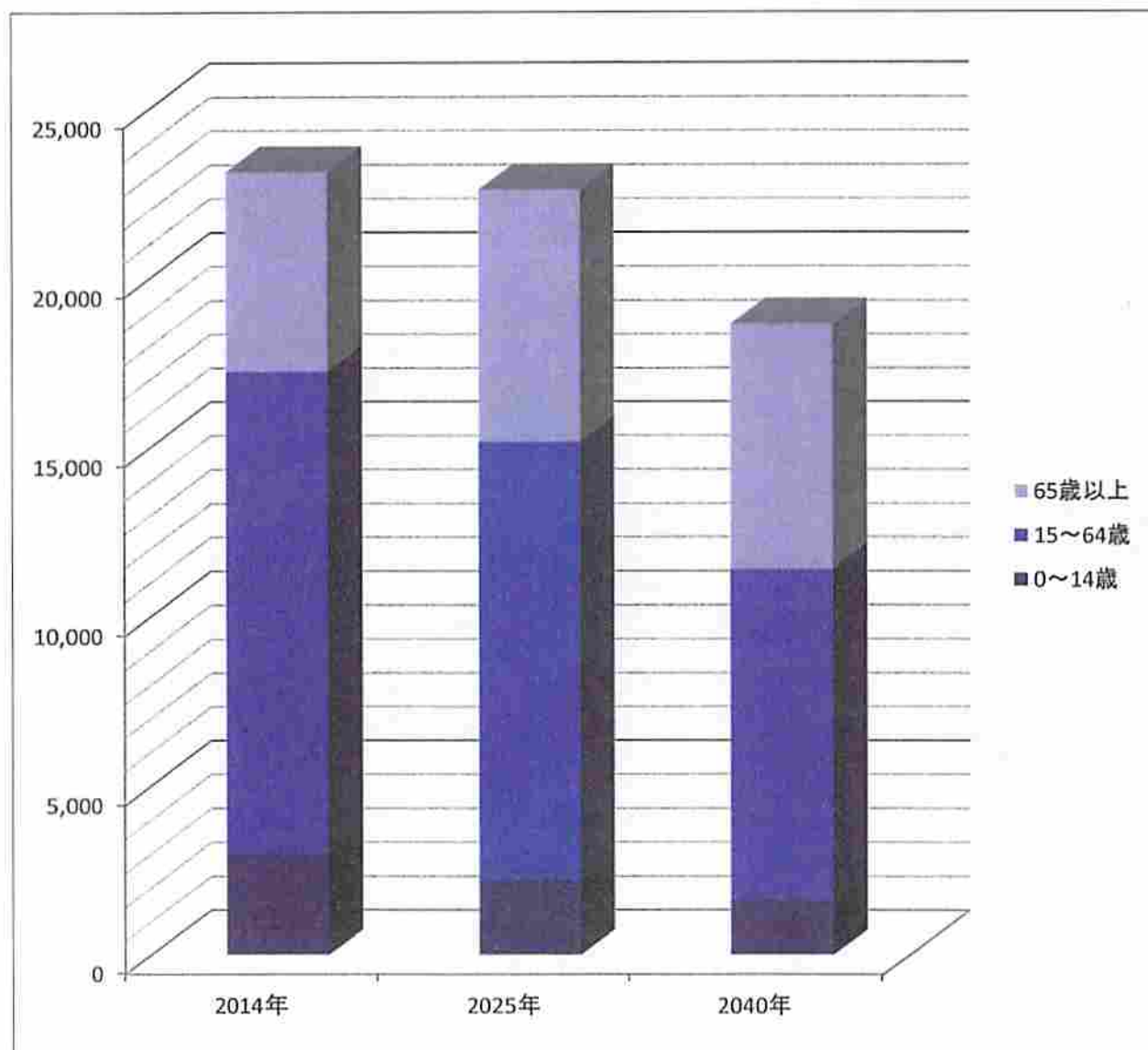
- ↓
- ・ 高齢者施策の見直しによる重点化
 - ・ 子育て支援のより一層の充実

将来推計人口

①は2014年1月1日現在の人口

なお、②③の減少率については国立人口問題研究所を採用

		① 2014年 (平成26年)	② 2025年 (平成37年)	③ 2040年 (平成52年)	増減	
					②-①	③-①
総数	人数	23,132	22,610	18,658	▲ 522	▲ 4,474
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	▲ 2.3	▲ 19.3
0～14歳	人数	3,016	2,249	1,645	▲ 767	▲ 1,371
	割合(%)	13.0	10.0	8.8	▲ 25.4	▲ 45.5
15～64歳	人数	14,220	12,914	9,749	▲ 1,306	▲ 4,471
	割合(%)	61.5	57.1	52.3	▲ 9.2	▲ 31.4
65歳以上	人数	5,896	7,447	7,264	1,551	1,368
	割合(%)	25.5	32.9	38.9	26.3	23.2
70歳以上 (65歳内数)	人数	4,114	6,023	5,602	1,909	1,488
	割合(%)	17.8	26.6	30.0	46.4	36.2
75歳以上 (65歳内数)	人数	2,628	4,372	4,202	1,744	1,574
	割合(%)	11.4	19.3	22.5	66.4	59.9



奈良県市町村別「20～39歳女性」の将来推計人口

※日本創成会議・人口減少問題検討分科会資料より抜粋

	市町村	2010年 総人口	2010年 20-39歳女性	2040年 総人口	2040年 20-39歳女性	若年女性 人口変化率
1	香芝市	75,227	10,175	83,551	9,992	-1.80%
2	葛城市	35,859	4,559	32,666	3,390	-25.60%
3	生駒市	118,113	15,300	112,910	11,339	-25.90%
4	広陵町	33,070	4,065	27,769	2,734	-32.70%
5	斑鳩町	27,734	3,392	21,621	2,214	-34.70%
6	橿原市	125,605	16,333	105,629	10,263	-37.20%
7	天理市	69,178	9,207	51,448	5,231	-43.20%
8	田原本町	32,121	3,873	22,505	2,110	-45.50%
9	奈良市	366,591	45,997	280,263	25,017	-45.60%
10	桜井市	60,146	7,188	45,281	3,907	-45.60%
11	三郷町	23,440	2,887	16,475	1,566	-45.70%
12	玉寺町	22,182	2,872	15,487	1,464	-49.00%
13	三宅町	7,440	810	4,576	408	-49.60%
14	大和郡山市	89,023	10,591	60,245	5,269	-50.30%
15	高取町	7,657	715	5,034	334	-53.30%
16	平群町	19,727	2,088	13,066	955	-54.20%
17	大和高田市	68,451	8,125	44,623	3,634	-55.30%
18	下北山村	1,039	47	494	20	-57.00%
19	川西町	8,653	967	5,052	415	-57.10%
20	十津川村	4,107	220	2,000	93	-57.80%
21	天川村	1,572	65	581	27	-58.00%
22	大淀町	19,176	2,058	12,167	853	-58.50%
23	黒滝村	840	51	326	19	-61.80%
24	野迫川村	524	40	186	15	-63.60%
25	河合町	18,531	2,018	10,997	715	-64.60%
26	御所市	30,287	2,961	16,408	1,027	-65.30%
27	上北山村	683	43	279	15	-65.40%
28	安堵町	7,929	930	5,085	316	-66.10%
29	上牧町	23,728	2,739	14,316	907	-66.90%
30	御杖村	2,102	121	888	39	-67.80%
31	五條市	34,460	3,351	17,695	1,028	-69.30%
32	宇陀市	34,227	3,338	17,165	934	-72.00%
33	明日香村	5,856	561	3,088	151	-73.10%
34	山添村	4,107	289	1,848	74	-74.30%
35	下市町	7,020	570	3,047	138	-75.90%
36	曾爾村	1,895	171	826	33	-80.60%
37	東吉野村	2,143	91	631	16	-82.70%
38	吉野町	8,642	670	3,063	105	-84.40%
39	川上村	1,643	73	457	8	-89.00%

奈良県下市町村の合計特殊出生率(H20~24)


(厚生労働省資料より)

	市町村	合計特殊出生率 (ベイズ推定値)	出生数		
			総数	男性	女性
	全国	1.38			
	奈良県	1.29			
1	香芝市	1.57	3,979	2,003	1,976
2	十津川村	1.49	101	51	50
3	葛城市	1.45	1,656	887	769
4	田原本町	1.42	1,342	688	654
5	斑鳩町	1.38	1,194	601	593
6	橿原市	1.37	5,501	2,821	2,680
7	天理市	1.36	2,995	1,591	1,404
7	三郷町	1.36	957	501	456
7	山添村	1.36	107	61	46
10	桜井市	1.35	2,374	1,203	1,171
11	広陵町	1.34	1,349	679	670
12	黒滝村	1.33	21	7	14
13	天川村	1.32	29	17	12
14	下北山村	1.31	18	11	7
15	大和郡山市	1.29	3,314	1,683	1,631
15	川上村	1.29	23	14	9
17	安堵町	1.28	293	157	136
17	東吉野村	1.28	27	16	11
19	生駒市	1.26	4,885	2,540	2,345
19	玉寺町	1.26	893	468	430
19	三宅町	1.26	238	126	112
19	高取町	1.26	219	96	123
19	野迫川村	1.26	5	4	1
19	上北山村	1.26	8	4	4
25	大和高田市	1.23	2,378	1,208	1,170
25	川西町	1.23	293	137	156
27	奈良市	1.22	13,718	6,972	6,746
27	大淀町	1.22	597	313	284
29	五條市	1.21	963	482	481
30	御杖村	1.20	21	13	8
31	河合町	1.19	574	285	289
32	曾爾村	1.18	34	13	21
33	明日香村	1.14	146	76	70
33	下市町	1.14	134	74	60
35	御所市	1.13	760	392	368
35	宇陀市	1.13	882	455	427
37	吉野町	1.10	157	78	79
38	上牧町	1.09	684	320	364
39	平群町	1.07	529	276	253

介護保険（65歳以上被保険者数）

	被保険者①	増減 (対2014年)	前期高齢者 (65歳から74歳)	割合 (%)	後期高齢者 (75歳以上)	割合 (%)	認定者数② 【うち要介護3以上】
2014年 (平成26年)	5,896	—	3,268	55	2,628	45	1,179 【450】
2025年 (平成37年)	7,447	1,551	3,075	41	4,372	59	1,489 【568】
2040年 (平成52年)	7,264	1,368	3,062	42	4,202	58	1,453 【554】

要介護3以上の
認定者数は11年
で1.26倍に



※平成26年以降の被保険者数等については、推計値となっています。

※平成26年以降は、要介護者の出現率を20%までとする努力目標数値としています。

（これまでと同様に、様々な介護予防事業に力を注ぐことを前提としています。）

※＜要介護3以上について＞平成26年以降は、平成22年の認定者のうち、要介護3以上が占める割合をもとに推計しています。

年度別特養待機者数と施設入所状況

年度別 待機者等数	H21	H22	H23	H24
	待機者数 H22年 4月現在	待機者数 H23年 4月現在	待機者数 H24年 4月現在	待機者数 H25年 4月現在
要介護1	8	13	11	7
要介護2	13	20	24	25
要介護3	16	23	15	16
要介護4	15	16	14	13
要介護5	11	9	9	9
合計	63	81	73	70

H25年8月現在（入所者数）	
入所施設別	入所者数
介護老人保健施設	24
介護療養型医療施設	5
特定施設（有料老人ホーム）	6
グループホーム	6
入所者数（合計）	41

H25年8月現在（待機者数）	
待機者の状況	待機者数
ショートステイ	7
訪問介護・通所介護	14
死亡	2
その他（入院等）	6
待機者数（合計）	29

※待機者数とは、毎年4月に各介護保険施設から奈良県に報告される人数です。王寺町では、毎年8月現在の待機状況を調査しています。

◎特養待機者70名[同一対象者]の待機状況（比較）

平成25年8月現在の状況

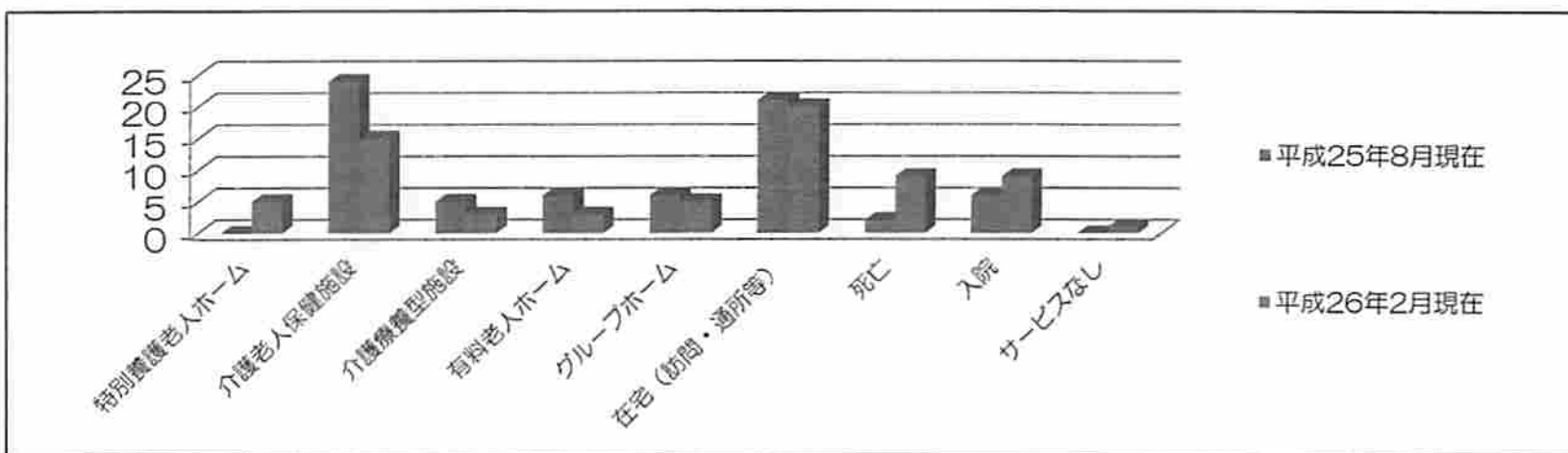
待機状況	人数
特別養護老人ホーム	0
介護老人保健施設	24
介護療養型施設	5
有料老人ホーム	6
グループホーム	6
在宅（訪問・通所等）	21
死亡	2
入院	6
入院 介護サービスなし	0
合計	70

平成26年2月現在の状況

待機状況	人数
特別養護老人ホーム	5
介護老人保健施設	15
介護療養型施設	3
有料老人ホーム	3
グループホーム	5
在宅（訪問・通所等）	20
死亡	9
入院	9
入院 介護サービスなし	1
合計	70

介護度	入所前の居場所
要介護3	在宅 (ショートステイ)
要介護3	在宅 (ショートステイ)
要介護4	在宅 (ショートステイ)
要介護4	老人保健施設 (ユートピアゆり)
要介護5	老人保健施設 (パルホーム)

○在宅3人 ○老健2人



子ども・子育て



王寺町の高齢者福祉施策

